

令和 6年 6月 17 日

盛岡広域振興局長

提出者 岩手グリーンアスコン株式会社

住所 〒020-0143 盛岡市上厨川字横長根52-29

氏名 代表取締役 高見 宜也



(法人にあっては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	岩手グリーンアスコン株式会社	* 整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	盛岡市上厨川字横長根52-29	* 受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	1,849 kJ	* 施設番号	
自動車の使用台数	8 台		
二酸化炭素の排出の状況			
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況	別紙のとおり。		
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
盛岡工場	盛岡市上厨川字横長根52-29	457 kJ
水沢工場	奥州市水沢工業団地2-61	558 kJ
北上工場	北上市相去町中成沢3-10	515 kJ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

2 エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。

3 エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通産省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。

4 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。- 6. 6. 17

5 2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。

(A 4)



2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合の記載欄

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

○2024年までに2021年比で10%削減を目標とするとの目標を掲げて取組を行ったところ24%の削減が出来ている。

【具体的な取組状況】

○省エネルギー

A重油…乾燥した骨材の使用または始業時の骨材送り量の調整によるドライヤーバーナー稼働効率アップ

電 気…製造装置の連続運転による製造及びAsタンクヒーターの温度管理徹底

○計画実現のための具体的な方法

・プラントの製造部門への年間目標指標を提示し、毎月工場長が、実績値を確認

○計画の達成度の把握方法

・毎月、環境定量データの記入とそのデータより計算されるCO2排出量の把握。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

○エコドライブ運転及びハイブリッド車のリース車入替検討

別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 溫室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	()年度						
	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量		E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年実測二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
	数量 A	単位 B	熱量(GJ) C	数量 D			
原油(コンデンセートを除く)	kL		kL				
原油のうちコンデンセート(NGL)	kL		kL				
粗焼却ガス(ガスリン)	kL		kL				
ナフサ	kL		kL				
ジエット燃料	kL		kL				
灯油	11.91	kL	435	kL	435	30	30
軽油	72.70	kL	2,763	kL	2,763	190	190
A重油	957.14	kL	37,622	kL	37,622	2,562	2,562
B-C重油		kL		kL			
石油アスファルト	t		t				
石油コーカス	t		t				
石油ガス液化石油ガス(LPG)	t		t				
石油ガス石油系炭化水素ガス	千m ³		千m ³				
可燃性天然ガス液化天然ガス(LNG)	t		t				
その他可燃性天然ガス	千m ³		千m ³				
化石燃料	輸入原料炭	t	t				
	原料炭	t	t				
	コークス用原料炭	t	t				
	吹込み用原料炭	t	t				
	輸入一般炭	t	t				
	国産一般炭	t	t				
輸入無煙炭	t		t				
石炭コーカス	t		t				
コールダール	t		t				
コークス炉ガス	千m ³		千m ³				
高炉ガス	千m ³		千m ³				
発電用高炉ガス	千m ³		千m ³				
転炉ガス	千m ³		千m ³				
	都市ガス	千m ³	千m ³				
その他の燃料()	()						
黒液	t		t				
木材	t		t				
木質廃材	t		t				
バイオエタノール	kL		kL				
バイオディーゼル	kL		kL				
バイオガス	千m ³		千m ³				
その他バイオマス	t		t				
RDF	t		GJ/t				
RPF	t		GJ/t				
廃タイヤ	t		GJ/t				
廃プラスチック(一般廃棄物)	t		GJ/t				
廃プラスチック(産業廃棄物)	t		GJ/t				
魔油	kL		GJ/kL				
廃棄物ガス	千m ³		千m ³				
混合廃材	t		t				
水素	t		t				
アンモニア	t		t				
その他燃料()	()						
小計①				40,819	2,883	2,883	
産業用蒸気		GJ		GJ			
産業用以外の蒸気		GJ		GJ			
海水		GJ		GJ			
冷熱		GJ		GJ			
地熱		GJ		GJ			
温泉熱		GJ		GJ			
太陽熱		GJ		GJ			
雪氷熱		GJ		GJ			
小計②							
電気事業者①	3,084.18	千kWh	26,647	千kWh	26,647	1,471	1,471
電気事業者②※複数契約している場合は合算		千kWh		千kWh			
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh		千kWh			
自家発電		千kWh		千kWh			
太陽光		千kWh		千kWh			
水力		千kWh		千kWh			
風力		千kWh		千kWh			
その他		千kWh		千kWh			
小計③				26,647	1,471	1,471	
合計④=①+②+③				67,466	4,354	4,354	

(2)原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0268

原油換算エネルギー使用量	1,741	kL
--------------	-------	----

(3)温室内効果ガスの総排出量

区分	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	温室内効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量		4,354 t-CO ₂
上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量		t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量		t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
バーフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
六ふつ化硫黄の排出量		t-CO ₂
三ふつ化窒素の排出量		t-CO ₂
合計	4,354	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。